

大会開催にかかる申し合わせ事項

大会に関わる全ての人は、IDカードを必ず身につけること。ない場合は入場不可とする。

【学連の対応】

<試合会場での対応>

1. 各試合間には45分の間隔を設け、1会場最大6試合までとする。
2. **無観客試合とする**。ただし、事前に申請がある日本リーグ関係者（以下、スカウト）は除く。
3. **試合会場入場時に**、学連役員、審判員、チーム役員・選手等、全ての者を対象として、**非接触型体温計による検温、消毒液による手指消毒を実施する**。なお、体温が37.5度以上の者は、試合会場への入館を許可しないものとする。（試合への出場（登録）を不可とする。）体温異常の者は15分後に再検温をする。
4. コートの他、アップ会場、更衣室等、使用する部屋等は、可能な限り常時換気を行う。
5. 前試合ハーフタイム時のコート使用は、これを不可とする。
6. **各試合終了後に**、試合会場やコート等の扉（取っ手）、ベンチ、オフィシャル席、ゴールポスト、試合補助道具等（モッパの椅子、モップの柄等む）の**消毒を実施する**とともに、コートは最大限の換気を行う。
7. **当該日の日程終了次第**、コートの他、アップ会場、更衣室等、使用する部屋等、**可能な限り消毒を行う**。

<消毒液等>

試合会場で使用する消毒液（噴霧式ボトル含む）、ふき取り用のペーパータオルは、学連が購入し、準備する。

【参加チームの対応】

<試合会場での対応>

※会場受付でチーム全員が揃い次第、参加者一覧および検温結果表を必ず提出すること。

※試合前にオフィシャルの役割があるチームについて

オフィシャルに入る人が参加者一覧および検温結果を受付に提出し、先に会場に入ること。

残りの部員は揃い次第受付で検温結果を記入すること。

1. **試合会場内では、常時マスクを着用すること**。ただし、試合時間内は、審判員、試合出場者は例外とする。
2. **試合会場への入場は各チームとも、登録者のうち役員5名以内、選手25名以内、登録外トレーナー2名以内とする**。入場の際は、**必ず検温及び手指の消毒を実施する**。また、**日本協会登録証を必ず持参すること**。ない場合は入場不可とする。
3. 自チーム以外の選手等と接触しないよう心がけること。また、観客席等では、ソーシャルディスタンスに配慮して対応すること。**チームごとのゾーニングを行うので、必要以外はその範囲内で行動すること**。
4. ベンチ登録外選手による観客席からの**大声を出しての応援は禁止とする**。マスクを着用すること。

<試合コートでの対応>

1. 自チーム間であっても、ハイタッチ等の**手のひらでの接触は避けること**。
2. ベンチの役員は、マスクを着用すること。
3. ハーフタイム時、および試合終了時に、自チームが使用していたベンチを消毒すること。
4. 試合終了後に、試合球を消毒すること。

<更衣、コート外アップでの対応>

1. 更衣室を使用した後は、適宜消毒すること。なお、シャワー室の使用は禁止する。
2. 次の試合のチームは、前の試合が行われている間に更衣を済ませ、それぞれ別の場所で前の試合が終了するまで待機（会場により指定あり）すること。なお、待機終了後、試合会場に移動する際は、待機場所を消毒すること。